



広域医療法人社団 メディカルドラフト会

**錦糸眼科** 札幌院  
特設サイト

お問い合わせ・資料請求・初診予約

0120-468049  
シリョクハレーシック

初診予約 資料請求 お問い合わせ

信頼と実績

機器・設備

**安全性と他院との比較**

治療法と費用

治療の流れ

体験談

よくあるご質問

HOME 錦糸眼科の安全性、他院との比較

フェムトレーザー・レーシック(PSモード) **18** 万円

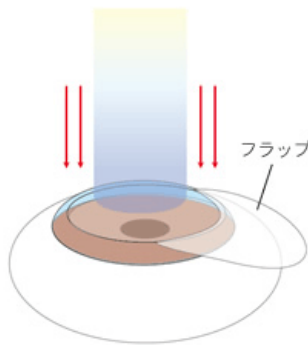
フェムトレーザー・レーシック(PTAモード) **30** 万円

錦糸眼科の安全性、他院との比較

創業**21**年の実績

## 当院の安全性、他院との比較

### 錦糸眼科の安全性が高い理由



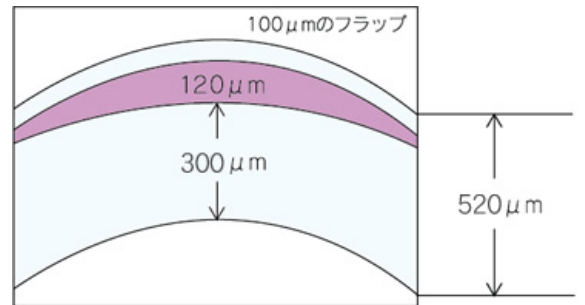
レーシックでは角膜をレーザーで削りますが、削った面から下(内側)の角膜の厚さを角膜ベッドと呼びます。日本眼科学会の基準では角膜ベッドを最低250マイクロメートル残すよう定められています。ただし、これはぎりぎり最低限の基準です。

角膜ベッドの厚さは、レーシックを受ける上で非常に重要な要素です。角膜を削った後の角膜ベッドに十分な厚みがないと、眼圧(眼球内部の圧力)で角膜の形が変えられて矯正した視力に変化が出たり、角膜の強度が不十分なために合併症を引き起こす可能性があります。

合併症の中でもっとも重篤なものは角膜ベッドが薄くなったために角膜が隆起するスウドケラトコーヌスです。この症状が出た場合は治すことが難しく眼鏡やコンタクトレンズで矯正しても視力が上がらない場合があります。そのため治療後に十分な角膜ベッドの厚みを確保できない方には、レーシックは行えません。

その場合は、フラップの厚みを考慮しないで行うことのできるエビレーシックやレーゼックなどの、表面照射と呼ばれる手術に切り替えるなどの方法をとります。

最低限基準値である角膜ベッド250マイクロメートルでも治療を行なうクリニックがありますが、錦糸眼科ではさらに安全性を考慮して角膜ベッドを300マイクロメートル以上残すようにしています。



### レーシック施術院比較表

	錦糸眼科	Kクリニック
創業	1993年(LASIK開始年1996年) (当院の沿革については、「 <a href="#">信頼と実績</a> 」をご覧ください)	2003年
イントラレーシック施術開始年	平成15年(2003年)	平成20年(2008年)
受賞歴 (これまでの受賞歴・沿革については、「 <a href="#">信頼と実績</a> 」をご覧ください)	2000年 米国学会でゴールドアワード受賞 2003年 イントラレーシックパイオニア賞受賞 2006年 ワールドトップドクター賞受賞 2007年 米国白内障手術学会の角膜屈折部門で最優秀論文賞受賞	-